



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

かわら版 28号

11月26日の第21ステージは吉原一沼津である。観光隊の下見で吉原駅から歩いたが旧東海道の上に国道一号線が拡幅して開発され旧東海道の面影は全くない。どこか名所はないかと駅近くの毘沙門天を見たがなぜか愛想なし。ならば田子の浦の海岸はどうかと防波堤を歩いたがテトラポットの続く風景に見るべきものはない。ようやく見つけた名所が白隠禅師ゆかりの松陰寺と酒屋、近くに千本松原もありここを歩くことになった。これだけではと、旧東海道からは外れるが沼津の魚市場と沼津御用邸記念公園を組み入れた。バスウォークの強みである。千本松原は歩きやすい良い道だったが時間の都合でわずか2.2kmでみなさん残念そうであった。本隊はあの風情の無い道を17kmも歩くのか、と心配しながら観光の一日であった。

松陰寺は法事で忙しく、説明が少なかったなのでインターネットから。

「駿河には、すぎたるものが二つあり。一に富士山、二に原の白隠。」ということだが、昔から人々の間で言われてきました。

これは、日本一の富士山と同じように、白隠禅師がたいそう立派なお坊さんであったことをよく表わしている言葉です。

白隠禅師は、今からおよそ二百九十年前の貞享二年(1685)に、原で生まれ、色々と世の中のためになる仕事をして、沢山の人々を助け、ふるさとの松陰寺で亡くなった偉いお坊さんです。のちに国師という高い位を贈られました。

沼津御用邸記念公園

明治26年、大正天皇のご静養のために造営された沼津御用邸。御用邸廃止後の昭和45年から沼津御用邸記念公園になりました。貴重な宮廷建築とともに玉座用の肘掛椅子やテーブルなどの家具調度品が観覧できる。

沼津港市場飲食店街

沼津港で水揚げさればかりの新鮮な魚介類が楽しめる飲食店街。沼津名産の干物などのお土産も豊富で、多くの観光客でにぎわっている。

潮騒がいざなう皇室の薫り

沼津御用邸記念公園

富士を望む奥駿河の地で育まれた皇室文化

明治26年、大正天皇のご静養のために造営された御用邸。御用邸廃止後の昭和45年から「沼津御用邸記念公園」として開かれています。沼津御用邸の御座は、貴重な宮廷建築とともに、玉座用の肘掛椅子やテーブルなどの家具調度品が観覧できます。其の他、沼津御用邸の歴史を伝える展示物や、皇室ゆかりの品々も展示されています。また、沼津御用邸は、沼津市街の中心部にあり、大正時代の建築様式が数多く残っています。また、沼津御用邸は、沼津市街の中心部にあり、大正時代の建築様式が数多く残っています。

大人	小人	お一人様料金
400円	200円	260円
400円	200円	130円

沼津御用邸記念公園 〒416-0227 静岡県沼津市千本松原2522-1 TEL:0543-921155 FAX:0543-921157